

笑顔の花を咲かせたい

復興地，心の支援へ2つのプログラム

月明かりに照らされて

9月14日(水)～9月25日(日)

宮城県石巻市の写真家 木村 洋介 氏 写真展

大地の力を響かせて

9月22日(木) 16:30～18:00

和太鼓：木村優一氏率いる太鼓集団「大地の会」と
絵本の読み聞かせのコラボレーション

立命館大学 国際平和ミュージアム
中野記念ホール

(入 場 無 料)

主催：立命館大学人間科学研究所

臨床心理学をベースにした「ピクチャーブック・ヒーリング—笑顔の花を咲かせよう♪—」プロジェクト

後援：立命館大学応用人間科学研究科

科研費
KAKENHI

本研究は科研費 JSPS 科研費 (16K13495) の
助成を受けたものです。



木村 洋介

Kimura Yosuke

1978年宮城県生まれ。月明かりに照らされた東北沿岸部の風景を撮影する月光写真家。2005年から独学で写真を始め、フラッシュを使わず月光のみを利用した撮影法で様々なコンテストやメディアに作品を提供する。主な受賞歴として、よみうり風景写真コンテスト2011、みやぎ蔵王三十六景フォトコンテストにてグランプリを受賞。他、日経ナショナルジオグラフィック2014年3月号、小説家真山仁の最新刊『そして、星の輝く夜がくる』の表紙カバーに作品を提供している。

東日本大震災の被害を受けた後は月明かりに照らされる沿岸部の風景とともに、めまぐるしく変わりゆく被災地の風景を撮影するようになる。現在はブログ「遙かなる月光の旅」(<http://bgrace.exblog.jp>)で、作品を公開中。



月夜の龍の松

阪神淡路大震災で被害を受けられた方がたへの激励演奏により、演奏活動を開始。和太鼓の第1人者、林英哲のサポートメンバーを務めるほか、神戸を拠点にするグループでは16年間にわたり、中心メンバー及び舞台の構成、演出を手掛け、2011年に独立。ジャズ、ラテンなど他ジャンルとのコラボレーションユニット「スペシャルソース」を率い、和太鼓と他ジャンルとのコラボにおいて関西ではパイオニア的存在となっている。また、クラシックとの共演においては、外山雄三作曲「管弦楽のためのラプソディー」を兵庫県立芸術文化センター管弦楽団と共演。近年は、アメリカへも指導グループを持ち、世界において活躍している。平成22年兵庫県泉井時忠音楽賞、平成24年神戸市文化奨励賞、平成25年兵庫県芸術奨励賞を受賞。和太鼓の潜在された魅力を最大限に引き出せるアーティストとして注目を集めている。

木村優一 <http://kimurayuichi.com>



木村 優一

Kimura Yuichi



JR・近鉄 京都駅より
市バス50にて「立命館大学前」下車、徒歩5分
阪急電車 西院駅より（急行停車）
市バス205にて「わら天神前」下車、徒歩10分
市バス（快205）・（快202）にて「立命館大学前」下車、徒歩5分
阪急電車 烏丸駅より（特急停車）
市バス51・55にて「立命館大学前」下車、徒歩5分。
京阪電車 三条駅より
市バス15・59にて「立命館大学前」下車、徒歩5分。
地下鉄 北大路駅より
市バス204・205にて「わら天神前」下車、徒歩10分。
JR・地下鉄 二条駅より
市バス15・55にて「立命館大学前」下車、徒歩5分。
JR 円町駅より
市バス15にて「立命館大学前」下車、徒歩5分。
市バス204・205にて「わら天神前」下車、徒歩10分。
※お車でのご来館はご遠慮ください。